



花いっぱい運動に取り組んでいます

は、緑と花にあふれるまちなみを目指し、町民参加による「花いっぱい推進運動」を継続してまいります。

以上、令和7年度の主な施策について申し述べました。

令和7年度の一般会計当初予算について、税収面では減少傾向が続いており、厳しい状況が今後も続くものと思われまます。歳出面においては、これまでと同様に扶助費などの社会保障関係費の増加や、電気料金をはじめとした燃料高騰、物

価高騰による物件費の増加、特別会計への赤字補填のための繰出金など、避けられない状況が続いております。

こうした旺盛な財政需要や多様な住民ニーズに対応すべく、国や県の予算編成の動向を注視しつつ、可能な限り補助金や交付金などの特定財源の確保に努めるとともに、持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

自治体DXの推進については、マイナンバーの活用を通じた行政サービスのデジタル化やオンライン化など、久米島町DX推進計画に基づき、町民の生活の利便性向上ならびに行政事務の効率化、さらにデジタル技術を活用した地域活性化に取り組んでまいります。

地域コミュニティにつきましては、自治会加入者の減少や地域行事の担い手不足など、多くの課題が顕在化しております。各字公民館へ空調設備を整備するこ

とで、自治会が自主的に取り組む各種事業が促進され、自治会内の各種団体の創意工夫にあふれた活動に資すると考えております。これにより、地域での集會機会の増加による活性化を促進してまいります。

住まい不足対策につきましては、対策の一環として、まずは医療・福祉・教育などの公的サービスを持続的に提供できるようにするため、町外から移住される専門職種の方向けの住宅整備に取り組んでまいります。

空き家対策につきましては、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしますので、空き家の改修及び除却に対して助成を行い、適切な管理を所有者等に促してまいります。

結びに

私は就任当初から、「全ての世代が生き生きと暮らせるまちづくり」を目指して町政運営に取り組んできました。就任当時は、世界

的な感染症の拡大による経済の低迷や地域活動の休止が続いておりましたが、今では地域活動も再開し、地域に活気が戻ってきております。また、昨年12月には地域行政懇談会を開催し、町民の皆様から地域が抱える課題やご要望を直接伺うことができました。今後も、地域の課題解決に向けて、行政と町民、地域が連携したより良いまちづくりを推進してまいります。

厳しい財政状況が続くことに対して危機感を抱いておりますが、いかなる困難に直面しようとも、多様な町民ニーズをはじめとする時代の要請に的確に 대응するためには、不断の行財政改革に取り組まなければなりません。これからも、町民の皆様が必要とするサービスをしっかりと届けていくためにも、職員力を高めることに努めてまいります。

町民の皆様ならびに議員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の施政方針いたします。



行政手続きのデジタル化に取り組んでいます



地域イベント「働く車大集合」の様子

令和7年3月4日
久米島町長 桃原秀雄